

86人参加し交流会

小菅市長 石田さん講演会も 初の出席

Jネット

首都圏在住の上越市出身者で親睦を広げるふるさと上越ネットワーク（Jネット）、小坂庸雄会長 は23日、東京都内のアルカディア市ヶ谷で総会と交流会を開いた。86人が参加。総会後の講演会では、石田眼科医院（上越市本町2）の石田誠夫理事長の「ちょっと知っておいて損はない眼科治療」と題した話を聞いた。

首都圏 ニュース

Jネットは会員の交流活動のほか、「上越の応援団」事業を多岐にわたりに展開。4月に百年料亭宇喜世（同市

仲町3）で開かれたふるさと交流会は72人が懇親を深め、上越産品を拡販する上越特産市場の昨年度実績は353万円。同市が積極展開するふるさと納税にも協力し、専門的知見を持つ会員が市の各種委員会委員に就くなどしている。会員は50

0余人。毎月、東京新潟県人会館でJネットサロンを開き、勉強会も重ね、若手会員との歓談会も企画している。

総会では小坂会長が主な出席者を一人一人紹介。初参加の小菅淳一市長は、日本を凝縮する魅力がそろう、人情も加わるふるさと上越の観光ビジョンとして「Meet Japan in Joet su（ミーツジャパン）上越、上越で日本に会おう」施策を紹介し、酒やスポーツなど点から線でつなぐ考え方を解説し、大きな拍手を受けていた。

お待ちかねの懇親会では松下電器副社長やWOWW社長、会長を歴任したJネット初代会長の佐久間舞一さ

総会では小坂会長が主な出席者を一人一人紹介。初参加の小菅淳一市長は、日本を凝縮する魅力がそろう、人情も加わるふるさと上越の観光ビジョンとして「Meet Japan in Joet

あいさつする小菅市長。左奥は小坂会長



んが開宴あいさつ。銘酒やワイン、食産品がずらり。旬のたけのこ汁も振る舞われ、参加者たちは懐かしい味と香りに大喜び。最後には特産品が当たる抽選会もあり盛り上がりがあった。



講演する石田眼科医院の石田理事長

